# 2021年度募集　ACT-X「リアル空間を強靭にするハードウェアの未来」研究提案書

(ACT-X - 様式1)

|  |  |
| --- | --- |
| 提案先研究領域名 | リアル空間を強靭にするハードウェアの未来 |
| 研究課題名（20字程度） | *※英語課題名の場合は、日本語の課題名（20字程度）を併記してください* |
| 研究提案者氏名 |  |
| 生年月日・年齢・性別 | *19XX年　○月　○日*  *○○歳　（2021年4月1日時点の年齢を記入してください。）　　男・女* |
| 所属機関・部署・役職 | *※「大学院○〇研究科○○専攻」「特任准教授」等、略さず正しくご記入ください。大学院の表記漏れにご注意ください。学生は研究科等に加え、修士/博士学年をご記入ください。* |
| 学歴  (大学卒業以降) | **【注意事項】**  **様式１～様式７の記入に当たっては「提案書記入要領」を**  **必ずご確認ください。様式１は１ページ以内厳守です。**  **本様式に限らず斜字体の注意書きは削除して構いません。**  **e-Radと研究提案書双方に記載欄がある事項について、記載内容が異なる場合は研究提案書の情報を正として対応します。研究費は○○千円単位の記載となりますので、ご注意ください。（○○万円ではありません。）**  **注意：本ボックスは研究提案書から削除してください。**  *(記入例)*  *20XX年 ◯◯大学◯◯学部卒業*  *20XX年 ◯◯大学大学院○○研究科修士課程○○専攻修了*  *(指導教員：○○○○教授)【教員名記入必須】*  *20XX年 ◯◯大学大学院◯◯研究科博士課程○○専攻修了*  *(指導教員：○○○○教授)【教員名記入必須】*  *20XX年 博士(○○学)(○○大学)取得* |
| 研究歴・主な受賞歴  (主な職歴と  研究内容) | *(記入例：所属した研究室の室長等の記載は必須)*  *20XX年～20XX年　◯◯大学◯◯学部　助手*  *○○教授研究室で◯◯◯◯◯について研究*  *20XX年～現在　　◯◯研究所　研究員*  *○○博士研究室で◯◯◯に関する研究に従事* |
| 研究提案者の情報 | URL: |
| 研究期間 | 2021年10月 ～ 年 月 (　　　年間) |
| 研究費総額 | 全研究期間での研究費総額 (　　　千円) *（最大10,000千円以下）* |
| 研究を実施する場所  （JSTとの契約予定先） | 上記所属機関（　*複数ある場合はいずれかを記載のこと*）  その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

# 研究提案の要旨

(ACT-X - 様式2-1)

## 〇要旨

*・様式2-1では、研究提案の要旨を****A4用紙2ページ以内(厳守)****で記述し、10.5ポイント以上の文字を使用してください(これらが遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります)。 なお、様式3-1（研究構想）とは異なり、業績リスト（様式2-2、ならびに様式4）にて示した**論文等の番号を引用することはできません。*

(ACT-X - 様式2-2)

# 研究提案者の主要業績

## 〇研究提案者の主要業績

*・様式2-2では、主要論文・招待講演リストを、****A4用紙1ページ以内(厳守)****で記述してください。*

*(遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります)。*

*・文字の大きさや行間を調整していただいてかまいません。*

**(1) 主要論文リスト（5件以内）**

**(2) 主要招待講演リスト（5件以内）**

**(3) その他（5件以内）**

(ACT-X – 様式3-1)

# 研究構想

* *評価者が理解しやすいように記述してください。そのため、必要に応じて図表(カラー可)も用いてください。*
* ***様式3-1は、A4用紙　3ページ以内(厳守)****で記述し、****10.5ポイント以上の文字****を使用してください。(これらが遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります。)*
* *本研究構想中では必要に応じて業績リスト（様式４）の記載内容を適切に引用することにより、提案者自身の業績と研究提案との関係が明確となるようにしてください。引用にあたっては、業績リスト（様式４）にて示した論文・著書番号を用いることもできます。*

## 1．研究の背景・目的

## 2．研究期間内の達成目標　※100字以内（句読点含む）

## 3．研究計画とその進め方

*研究費（直接経費）総額が6,000千円を超える場合はその理由も簡潔に記述して下さい。最大でも10,000千円以下として下さい。標準額を超える場合はその理由を簡潔に記述してください。*

## 4．国内外の類似研究との比較、および研究の独創性・新規性

## 5．研究の将来展望

*本研究提案により、どのような新たな価値を創造することを狙っているのか、どのような未来を切り拓こうと考えているのかを記述してください。*

# 研究のスケジュール

(ACT-X - 様式3-2)

***※******様式3-2は、A4用紙1ページ以内(厳守)****で記述してください。(遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります)*

*※下記の例を参考に研究の主なスケジュールを記入（以下の例は研究期間が2.5年間の場合）*

*してください。*

*※研究項目が複数ある場合は、できるだけ項目別のスケジュールが分かるように記入してください。*

*※矢印の位置、長さ、太さは自由に変更してかまいません。*

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究項目 | 2021  年度  (6ヶ月) | | 2022  年度 | | 2023  年度 | |
| **１．** |  |  |  |  |  |  |
| ・ |  |  |  |  |  |  |
| ・ |  |  |  |  |  |  |
| **２．** |  |  |  |  |  |  |
| ・ |  |  |  |  |  |  |
| ・ |  |  |  |  |  |  |
| **３．** |  |  |  |  |  |  |
| ・ |  |  |  |  |  |  |
| ・ |  |  |  |  |  |  |

(ACT-X - 様式4)

# 業績リスト・過去の研究代表実績

**【研究提案者の英語論文等での著者表記：　　　　　　　】**

## 1．主要な論文・著書等

## 2．上記以外の論文・著書等

## 3．主要な特許

*【記載項目】*

*出願番号・発明者・発明の名称・出願人・出願日*

## 4．競争的研究資金制度等において代表を務めた研究課題の事後評価

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 番号 | 制度名 | 研究課題名  （実施年度） | 事後評価結果掲載WebページのURL |
| **1** |  |  |  |
| **2** |  |  |  |

(ACT-X - 様式5)

# 他制度での助成等の有無

【注意事項】

・研究提案者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度(CREST・さきがけ・ACT-I・ACT-X・AMED-CREST・PRIMEを含む)やその他の研究助成等(民間財団・海外機関を含む)について、研究課題ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォートを記入してください。募集要項「8.1 不合理な重複・過度の集中に対する措置」、｢第9章｣もご参照ください。

・記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

・面接選考の対象となった場合には、他制度への申請書、計画書等の提出を求める場合があります。

・ACT-X本提案課題を必ず１つ目に、次にその他研究課題を本人受給研究費(期間全体、直接経費のみ)が多い順に記入してください。

・必要に応じて行を増減してください。

*学生で、指導教員のe-Rad IDを使用されe-Radへエフォート率1%と記載された場合、本提案書への記載は実際に従事されるエフォート率（例：50%）を記入ください。その際、週40時間のうち、ACT-X研究に充てる時間の割合（%）を「エフォート」として記入してください*

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **制度名** | **受給**  **状況** | **研究課題名**  **(代表者氏名)** | **研究**  **期間** | **役割**  **(代表/**  **分担)** | **(1)本人受給研究費**  **(期間全体)**  **(2) 〃 (2021年度 予定)**  **(3) 〃 (2020年度 実績)** | **2021年度**  **ｴﾌｫｰﾄ**  **(％)** |
| - | ACT-X | 申請 | 本提案。右側にエフォートを記入すること。 | | | |  |
| (1) |  |  | (　　　　) | － |  | (1) 千円  (2) 千円  (3) 千円 |  |
| (2) |  |  | (　　　　) | － |  | (1) 千円  (2) 千円  (3) 千円 |  |
| (3) |  |  |  | － |  | (1) 千円  (2) 千円  (3) 千円 |  |

(ACT-X - 様式6)

# 人権の保護および法令等の遵守への対応

　本研究計画については、遵守すべき法令・ガイドライン等を理解の上策定したことを確認します。

また計画の実施にあたっても、法令・ガイドライン等を遵守して実施することを確認します。

|  |
| --- |
| （遵守すべき法令・ガイドライン等の例）  ・「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」（平成26年8月26日文部科学大臣決定。その後の改正を含む）  ・「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）平成19年2月15日施行/平成26年2月18日改正文部科学大臣決定。その後の改正を含む。）」  ・安全保障貿易管理（海外への技術漏洩への対処）について、最先端研究の成果等が大量破壊兵器の開発者やテロリスト集団など、軍事転用等の懸念活動を行うおそれのある者に渡らないよう、外国為替及び外国貿易法（外為法）をはじめ、各府省が定める法令・省令・通達等  ・海外における実地の研究活動（生物資源の持ち出しも含む）や海外研究機関との共同研究を行う際には、関連する国の法律等  ・ライフサイエンスに関する研究については、生命倫理および安全の確保に関し、各府省が定める法令・省令・倫理指針等 |

*（確認した場合は□にチェックを入れること）*

以上につき、確認しました。

(ACT-X - 様式7)

# 特記事項

***※様式７は、A4用紙２ページ以内で記入してください。(遵守されていない場合、研究提案が不受理となることがあります。)*** *チェックボックスを設けている項目については、該当する方にチェックを入れてください。*

## ○ 評価者との利害関係の有無（*提案書記入要領を必ず参照して記述してください。*）

1. 研究総括（評価者）との利害関係：　有　　無

理由（利害関係がある場合）：

〇〇プロジェクト（20XX年～20XX年）にて研究総括と共同研究を実施しており、5.1.2(2)①に定める利害関係者の要件のうち、(f)に該当する。

（イ）領域アドバイザーとの利害関係：　有　　無

利害関係にある領域アドバイザー名：△△　△△

理由（利害関係がある場合）：

＊＊プロジェクトにおいて現在共同研究を行っており、5.1.2(2)①に定める利害関係者の要件のうち、(c）に該当する。

## ○ 所属機関に対するJSTの出資の有無（*提案書記入要領を必ず参照して記述してください。*）

JSTの出資：　有　　無

当該機関の名称：株式会社○○（科学太郎）

## ○ （該当者のみ）研究提案者のエフォートに関する特記事項

・研究提案者が特別の任務等（特定の学内・社内業務等）に仕事時間（エフォート）を要する事情の有無

## ○ 　その他特記事項

・同一研究領域へ複数回の応募となる場合、前回の提案との相違点

・異動予定　　等

## 提出前確認シート（提出時には削除すること）

(ACT-X – 別紙)

**○ 締切に十分余裕を持ってご確認ください。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 主な確認ポイント | | 参照箇所 | チェック欄 |
| e-Radに研究者登録が済んでいるか | | 募集要項「第10章」 |  |
| 研究倫理教育に関するプログラムを修了したか | | 募集要項「第8章8.27」 |  |
| 重複応募制限（AMEDプログラム含む）について該当しないことを確認したか  ※2021年度から戦略的創造研究推進事業内における重複応募制限の対象が変わりました。 | | 募集要項｢第9章｣ |  |
| 研究総括と利害関係がないか**※** | | 募集要項「第5章 5.1.1」 |  |
| a | 研究総括と親族関係にある。 | | 該当なし |
| b | 研究総括と大学、国立研究開発法人等の研究機関において同一の研究室等の最小単位組織に所属している。あるいは、同一の企業に所属している。 | | 該当なし |
| c | 現在、研究総括と緊密な共同研究を行っている。または過去3年以内に緊密な共同研究を行ったことがある。(緊密な共同研究の有無は、例えば、共同プロジェクトの遂行、研究課題の中での研究分担者、あるいは共著研究論文の執筆等、それぞれの内容から判断します。不明な点があれば問合せください) | | 該当なし |

**※**利害関係で明確に判断し難い項目が1つでもある場合には、利害関係問い合わせ様式（https://www.jst.go.jp/kisoken/boshuu/teian/koubo/inquiry.docx）を[rp-info@jst.go.jp](mailto:rp-info@jst.go.jp)までお送りください（メール送信時の件名：【利害確認】【ACT-X 応募先研究領域の研究総括氏名】お問合せ者のご所属・氏名）。

**○ 提出期限について**

締切間際はe-Radのシステム負荷が高く、応募に時間がかかる、完了できない等のトラブルが発生しています。時間的余裕を十分に取って、応募を完了するようお願いします。

**○ 各様式について**

提案書については漏れがないかチェックの上、提出してください。なお、提案書に不備（ページ数の超過、査読を困難とする文字化け等）がある場合には受理いたしませんので、ご注意ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 項目 | 主な確認ポイント | チェック欄 |
|  | e-Radへのデータ入力 | 記載漏れがないか。提案書は3MB以内を目途にPDF化できているか。 |  |
| 様式1 | 研究提案書表紙 | 記載漏れがないか。PDFに変換された状態で、1ページ以内か。 |  |
| 様式2-1 | 研究提案の要旨 | PDFに変換された状態で、2ページ以内か。  10.5ポイント以上の文字で記載されているか。 |  |
| 様式2-2 | 研究提案者の主要業績 | PDFに変換された状態で、1ページ以内か |  |
| 様式3-1 | 研究構想 | PDFに変換された状態で、3ページ以内か。  10.5ポイント以上の文字で記載されているか。 |  |
| 様式3-2 | 研究のスケジュール | PDFに変換された状態で、1ページ以内か。 |  |
| 様式4 | 業績リスト・過去の研究代表実績 | 記入要領の指示に従っているか。 |  |
| 様式5 | 他制度での助成等の有無 | 記載漏れがないか。特に本提案（ACT-X）のエフォートを記入しているか。 |  |
| 様式6 | 人権の保護および法令等の遵守への対応 | チェックを入れているか。 |  |
| 様式7 | 特記事項 | PDFに変換された状態で2ページ以内か。必要な事項を記載できているか。 |  |
| 確認書 | 確認書（学生や学振特別研究員など、ご自身が研究費執行可能な役職になく契約当事者になれない場合のみ要） | 確認書の項目について提案者・指導教員等が同意し、確認したものをPDFに変換したか。 |  |